

ごとう



ねんりんピック長崎 2016

第29回全国健康福祉祭ながさき大会（通称ねんりんピック）が10月15日から開催され、五島市でも「剣道交流大会」「俳句交流大会」が行われました。

目次

一般質問	P2~P8
委員会審査	P8~P9
審査結果	P9
賛否一覧表	P10
編集後記	P10

9月定例会は、9月20日から10月12日までの23日間の日程で開催されました。

9月26日から28日には、13名の議員が一般質問を行い、9月29日から10月7日までは、各常任委員会が開かれ、付託された議案等について審査を行い、市長提出議案の平成28年度補正予算、条例等32件を可決、人事案件15件を同意。

さらに、請願2件、議会議案1件、決議1件についても、それぞれ審議決定されました。

9月定例会の あらまし

一般質問
市政を問う
(議員写真は西日本新聞社提供)

問 国境離島新法による航空運賃の低廉化は

答 ジェットフォイルは4千円弱に引き下げられると算出している



谷川 等 議員

質問 来年4月に施行される国境離島新法については、市民も期待しているが、その中で航空路―航空路運賃の低廉化は。

答弁 航空路の長崎―福江間のジェットフォイルについては、市が国に要望しているJRの特急並みの料金を同区間の海上距離に当てはめると、片道運賃が4千円弱に引き下げられる。また、2次離島航空路の運賃は現在の半額になるところもあり、全体的に安くなるかと算出している。航空路については、現在長崎―福江間のみが対



国境離島新法による運賃の低廉化が望まれる航空路

象となっており、新幹線並みに当てはめると片道8千円前後と算出している。この金額はあくまで市の試算であり、今後、国が詳細を詰めるものと思う。対象外になっている福岡―福江間の航空路運賃の低廉化や島外者が割安になる料金設定を国に強く要求していきたい。

地域福祉センター―荒川温泉

(旧豆谷旅館)を買収する考えは

質問 荒川温泉は五島唯一の高温温泉であり、観光には必要不可欠であるが、旧豆谷旅館を市が買収する考えはないか。

答弁 買収も一つの選択肢であるが、荒川地区の皆様も温泉を活用した地域振興策を検討しており、交流人口の拡大に向けた活用策を考えていきたい。

**バラモンキングの
スイム会場の見直しを**

質問 バラモンキングの参加者をふやすために、スイム会場の見直しをしては。

答弁 スイム会場については、現在の富江湾が適していると考え、参加定員については、今後もより多くの方が参加できるようにバイクの収容台数、宿泊施設の収容人数等も含め検討していきたい。

問 ふるさと納税の状況は
答 平成27年度では約1億2千600万円の寄付を頂いている



明石 博文 議員

質問 五島市のふるさと納税の現在の状況と今後の取り組みは。

答弁 インターネットを通じたクレジットカード決済、納税額に対するポイント制度の導入、返礼品の区分及び品目を見直すなど、内容の充実と納税者の利便性向上に努めてきている。

今後の取り組みとしては、10月からふるさと納税の特設サイトを開設し、利便性向上を図り、既存の寄附者のリピーター化、新規寄附者の獲得を目指し、独自の特産品開発、提供とPR活動を展開していききたい。



ふるさと納税を活用し、外国人との英会話体験を行う「イングリッシュキャンプ」

潜伏キリシタン関連遺産の世界遺産登録に向けた、今後の取り組みは

質問 潜伏キリシタン関連遺産の世界遺産登録に向けた、久賀島集落、奈留島の江上集落の構成資産についての今後の取り組みは。

答弁 久賀島については、全島域が国の重要な文化的景観に選定されており、江上集落については、市の景観条例に基づく景観重要地区に指定されていることから、保存管理計画や景観計画の範囲で保護しながら良好な景観保全に努めていきたい。

特定健康診査の受診状況は

質問 特定健康診査は、個人の健康管理、病気の早期発見・早期治療につながるが、現在の受診状況は。

答弁 「日本一健康なしま」づくりを目指して、市民の健康への認識を深めて元気で長生きして頂くために、関係団体や町内会など多くの市民と連携しながら取り組んできた。

今後未受診者対策として、健康ポイント制度のPR、健康推進員による受診勧奨、職員による未受診者訪問、事業所検診や病院で受診している方のデータを提供していただいて、受診率向上に努めていきたい。

問 安心安全のために24時間連続運転に変更すべきでは

答 地元の要望として24時間の連続運転に変更した



草野 久幸 議員

質問 焼却炉におけるダイオキシン発生は、焼却炉の点火、消火時の低温燃焼700度から300度に多く発生すると言われている。本市の計画では、16時間の間欠運転で、年間268日運転により、点火、消火が繰り返される。安心安全のために24時間の連続運転に変更すべきでは。

答弁 9月12日に大浜地区で開催された新ごみ焼却施設建設計画についての講習会において、ダイオキシン類の発生リスクが抑制される24時間の連続運転が望ましいとの提言があり、参加された大浜地区の住民も多数賛同されたことから、地元の要望として真摯にとらえ、運転方式を24時間の連続運転に変更することとし、既に地元住民へ伝えている。

新ごみ焼却施設を2炉とした理由は

質問 新ごみ焼却施設は2炉の建設計画になっているが、1炉の建設に変更した場合、他の施設との対比で約17億円もの減額になる。また、本市と同じ離島の種子島でも1炉で運営している。なぜ2炉建設が必要なのか。

答弁 小規模な施設では1炉の事例もあるが、本市が建設する規模以上の施設では、9割以上が複数炉を選択している。離島である本市にとっては、島内唯一のごみ焼却施設であり、ほかに代替施設もないことから、施設の点検・補修、あるいは不測の故障などに備え、2炉の建設を決定している。



現在稼働している福江清掃センター

問 地方版CCRC構想への取り組みは

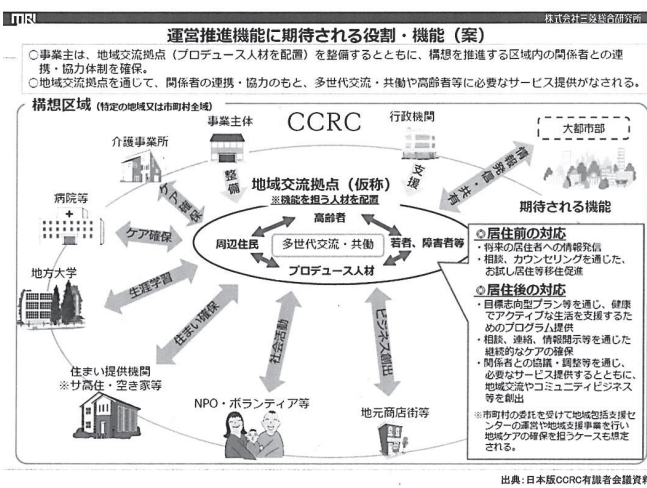
答 国・県の動きを注視しながら、慎重に見極めていきたい



相良 尚彦 議員

質問 地方版CCRC構想への取り組みとして、人材活用を目的とした定住促進を。

答弁 日本版CCRC構想有識者会議がまとめた生涯活躍のまち構想は、東京圏を初めとする地域の高齢者が地方に移り住み、必要に



出典：日本版CCRC有識者会議資料

応じて医療・介護を受けることができるような地域づくりを目指すものである。県においても協議会を立ち上げ、ながさき型CCRCの検討を行っている。

市としては、国、県の動きを注視しながら、今後のあり方については慎重に見極めていきたい。

地域完結型医療と介護・福祉の総合的なシステムの構築により地域のきずなづくりを

質問 地域に密着した各地区の診療所や医療機関を中核とした地域づくりと、介護予防を中心とした健康づくり活動の拡大を。

答弁 市の総合戦略の重点事業に地域包括ケアシステムによる介護の充実を掲げ、在宅医療連携の推進や地域全体で介護予防や自立支援ができる体制づくりを目指している。住民に身近な診療所はその中核となる医療サービスを地域に密着して提供しており、体制構築に向け大きな役割を期待するものである。

現在、介護予防事業の一環として地域ミニデイサービス事業を各地に拡大しており、今後このような地域のつながりを生かした支援の流れも取り入れながら進めていきたい。

問 市民にも痛みを伴う行政改革とは

答 国保会計、簡易水道会計の赤字を解消するため、値上げ等を検討していく



江川美津子 議員

質問 所信表明で、行政改革について市民にも痛みや負担を伴う見直しをお願いすると述べたが、具体的な内容は。

答弁 これからの4年間は、合併特例支援の終了により、国からの地方交付税が大幅に減少することが予測されることから、これまで以上に徹底した事務事業の見直しや自主財源の確保に努めなければならぬ。

特に、国保会計、簡易水道会計の赤字を解消する必要がある、国保税、水道料金の値上げ等について検討せざるを得ないと考えている。また、地域においては、公共施設の再編・統合を進めていく。

就学助成を入学前に支給すべきでは

質問 就学援助の入学準備金を3

月末に支給する自治体が全国的にふえており、県内でも、長崎市・南島原市が来年度から新中学1年生を対象に3月支給を実施する。本市でも、3月末に支給すべきでは。

答弁 本市では平成24年度から4月に支給している。

入学前の支給については、効果や課題を研究し、県内他市の状況も確認しながら検討していきたい。



入学準備金の3月末支給が待たれる

福祉医療費助成を全て現物支給にできないか

質問 現在、福祉医療費の助成方法は、乳幼児を除き償還払いとなっているが、すべての医療費助成を現物給付にできないか。

答弁 現物給付方式は、本人が市に請求手続きをする必要がなく、保護者の利便性が向上するが、医療費の増加や国保会計への国庫負担金の減額等、さらなる財源の確保が必要となるため、実施は困難である。

問 国境離島新法を活用した雇用拡充を

答 若者雇用を拡充していきたい



木口 利光 議員

質問 若者定住対策として地元就職を条件とした給付型奨学金制度や地元企業就職後の人材育成制度を充実すべきでは。

答弁 給付型奨学金制度については、高校・大学等の卒業後に市内で就労した場合やU・Iターンを問わずに借り入れた奨学金返済を助成する制度創設に向け、検討している。また、市内企業就職後の人



平成28年8月9日に行われた「五島市企業フェスタ」

国境離島新法による雇用拡充を

材育成への助成については、国による資格取得、能力向上及び技能検定に対する助成があり、市としては、これに上乗せ助成や独自の制度創設を検討していきたい。

質問 国境離島新法を活用した農水産業・商工業・観光業の雇用拡充を。

答弁 農業については、五島市農林総合開発公社の改修等による研修生受け入れ拡大を、漁業については、漁業研修終了後の国による所得支援がないため、着業後の漁業後継者への給付制度の創設を、商工業については、民間事業者が新規雇用につながる事業拡大、創業に関する助成を要望していきたい。

観光による雇用拡大のためには、運賃低廉化が現在対象とされている五島市民への割引のみならず、観光客がどこまで対象とされるかにかかっている。また、フリープランツアーや修学旅行も要望しており、航路・航空路での観光客への運賃低廉化を強く要望していきたい。

問 支所地区ごとの人口
ビジョンの策定を

答 地域ごとの策定は行わず、
市全体で進めていきたい



橋本 憲治 議員

質問 本市の総合戦略では、2060年で2万人の人口を確保し、持続可能な社会・経済活動の維持を図るとしているが、支所地区ごとの人口ビジョンの策定をすべきでは。

答弁 地域ごとの人口予測及び人口ビジョンの策定は行わず、市全体で進めていきたい。

図書館建設予算10億円は適正か

質問 新図書館整備事業費は、10億3千563万円と見積もられているが、新図書館整備基本計画に沿った検討が進められているのか。

答弁 平成22年度に策定した五島市新図書館整備基本計画の見直しについて、整備検討委員会を立ち上げ、サービス水準の数値目標や施設の規模等について検討し、そ

の結果をもとに、今後工事費の詳細な積算を行う予定である。



現在の五島市立図書館

新ごみ焼却施設は集落から離れた地域へ建設すべきでは

質問 8月4日、富江ごみ焼却施設で法定基準値以上のダイオキシンが排出されていることが判明し、一時操業が停止された。安全とはいえない焼却施設は、集落から離れた地域に建設すべきでは。

答弁 新しいごみ焼却施設は、最新の設備を有しており、管理運営の形態をより充実させることで、安全性を確保できると考えており、建設地の変更は考えていない。

問 奈留島ー前島間の海上タクシーによるデマンド運航の今後の予定は
答 10月1日から1日3便の運航とする



野茂勇司 議員

質問 奈留島ー前島間の海上タクシーによるデマンド運航の経過と今後の予定は。

答弁 4月28日に前島で住民説明会を開催し、運航計画案について、説明を行い、了承を得たうえでデマンド運航の実施に向けた取り組み

を進めてきた。10月1日から1日3便の運航とし、その内の第2便を定期運航に、残りの第1便、第3便を主に電話予約による運航としている。

奈留のしま留学の進捗状況は

質問 平成29年度開始予定の奈留のしま留学の進捗状況は。

答弁 奈留のしま留学は、市外の小学3年生から中学3年生までの小中学生を、奈留島の受け入れ家庭で養育しながら奈留小中学校へ通学させる事業である。

定員は平成29年度を3名、平成30年度からは5名としており、5月27日にしま説明会を実施している。その後、常時預かり一世帯、臨時預かり一世帯の応募があり、7月19日には事業主体となる奈留しま留学連絡協議会を発足し、協議会規約や募集要項等を決定している。

また、8月16日に五島市しま留学ホームページを開設して募集を開始し、9月16日には、東京、神奈川、大阪、福岡等主要都市の小中学校、およそ3千400校へ募集チラシを送付している。



前島（笠松港）に接岸する海上タクシー喜代丸

問 市長2期目の決意は

答 人口減少対策、持続可能な財政基盤の構築に全力を尽くしたい



網本 定信 議員

質問 市長2期目のスタートに当たっての決意は。

答弁 本市の人口は、この5年間で約3千300人減少し、人口減少に歯止めがかからない状況が続いている。その中で人口ビジョンと総合戦略を策定しており、これからの4年間で着実に推進し、人口減少に関する施策については、積極的に財政出動することも必要だと考えている。

また、将来への責任として、私たちの子や孫の世代に活力ある五島市を残すため、持続可能な財政基盤を構築し、厳しい財政状況にあっても、住民サービスが提供できるよう、将来に備える島づくりに全力を尽くしていきたい。

この1年で特に取り組む事業は

質問 市長がこれからの1年で特

に取り組む事業は。

答弁 国境離島新法関連予算に本市の要望を反映させるべく要望活動に努め、航路航空路の運賃低廉化の実施や雇用の拡大に取り組む。次に潜伏キリシタン関連遺産の世界遺産登録、浮体式洋上風力発電の10基増設、潮流発電実証事業の環境整備、民間の雇用拡充の掘り起こし、旧大波止ホテル跡地活用策の決定、オフィスビルの整備と入居企業の誘致及び市内企業・事業者の人手不足の解消に取り組んでいきたい。



旧大波止ホテル跡地

陸上競技場の全天候型への取り組み状況は

質問 交流人口拡大のために、陸上競技場を全天候型にすべきと考えるが、取り組み状況は。

答弁 市内の競技団体、合宿で訪れる団体等からも、陸上競技場の全天候型への改修について要望を受けており、早い時期に着工できるように検討していきたい。

問 市内の山岳を活用したツアー等の考えは

答 旅行事業者に対し、積極的に働きかけていきたい



林 睦浩 議員

質問 「8月11日」の山の日施行を踏まえ、五島の山岳を活用したツアー等の考えは。

答弁 五島の山岳を活用した取り組みは、観光地としての五島の魅力を高めるためにも大変有効で、これから進めようとしているジオ



七ツ岳山頂からの景色

パークにもつながることから、今後、専門的な旅行を取り扱う事業者に対し、自然を生かしたツアーの造成について、積極的に働きかけていきたい。

スポーツ合宿誘致の実績と効果及び今後の課題は

質問 スポーツ合宿誘致の実績と効果についてどのように検証しているのか。また、合宿団体に合宿後にアンケート調査を実施しているが、どのように検証しているのか。

答弁 合宿団体は、宿泊、飲食等に昨年度で約4千万円を市内で消費しており、地元の子供たちとの練習試合、あるいは実業団やプロチームによるスポーツ教室の開催など、直接触れる機会を提供していただいている。また、マスコミに取り上げられる機会もあり、PR効果があっていると考える。

アンケートの調査では合宿環境に対し、おおむね好評をいただいているが、県内の他の自治体も合宿誘致に力を入れ始めており、今後はこうした自治体との差別化が必要と考える。

問 本市の人口の推移は

答 平成52年には2万1千987人まで減少すると推計される



宗 藤人 議員

質問 本市の人口はこの5年間で約3千300人減少しているが、今後の推移は。

答弁 本市においては、昭和30年の9万1千973人をピークに平成27年の国勢調査の速報値では3万7千331人まで減少しており、旧市町別では、特に奈留、玉之浦、三井楽の減少幅が大きく、漁業の衰退が大きな要因と考えられる。年齢別では、高校卒業生を含む18歳から22歳までの将来の五島市を担う若者の著しい減少に歯止めがかからない状況である。

今後の将来推計人口では、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、平成52年には2万1千987人、平成72年には1万2千685人まで減少すると推計され、少子高齢化がかなり進むと予測される。

人口減少に対する打開策は

質問 人口減少社会は行政の重要課題であり、すべての市民が安心して暮らせる環境づくりが必要であると考えるが、本市の人口減少に対する打開策は。

答弁 本市では総力を挙げて最重要課題である人口減少に挑み、ふるさと五島の活性化を目指している。特に雇用の確保については、人口減少を抑制するためには不可欠であり、若者が生涯安心して暮らしていける環境をつくり出し、若い世代が希望どおりに子供を産み育てられるようきめ細かな子育て支援を展開する。その他、交流人口の拡大、定住促進のためのU・Iターンの推進など、あらゆる事業が人口減少対策に結びつくものであることから、継続して取り組み、子や孫の世代に活力ある五島市を残せるよう努めていきたい。



きめ細かな子育て支援を

問 漁船保険の援助がでないか

答 輸送コストや燃油支援等を行っており、難しいと考える



古川 雄一 議員

質問 魚価が低下し、漁民の収入が減少している中、吉岐市、平戸市においては漁船保険の補助を行っている。本市でも漁船保険への援助ができないか。

答弁 漁船保険への補助は、経費の軽減による漁業経営の安定化に寄与するものと理解しているが、離島活性化交付金による鮮魚の輸送コスト及び漁業用燃油支援等を行っていることから、さらに漁船保険への補助を行うことは難しいと考える。

クロマグロ稚魚の採捕の現状は

質問 本市でのクロマグロ稚魚の採捕の現状は。

答弁 国、県及び地域が一体となり、まき網、定置網、曳き縄漁業等において、クロマグロ資源の漁

獲量が管理されている。本市におけるクロマグロの採捕については、漁協単位で船団化しており、操業ルール等を定めながら、種苗を採捕している。

富江サイクリングロードの延長を

質問 津多羅島と二子瀬の間に夕日が沈むのは絶景である。観光客の増加が見込まれることから、富江サイクリングロードを延長しては。

答弁 富江サイクリングロードについては、キャンプ村の利用者のもとより、地元の子供たちや観光客に変化に富んだ溶岩海岸のすばらしい景観を楽しんでいただいている。観光客に少しでも長く滞在してもらおう効果が見込まれることから、財源の確保、整備場所等を含めて今後検討していきたい。



二子瀬に沈む夕日

問 農業所得の向上が望める作物の導入を

答 今後も農業者や関係機関と連携しながら取り組んでいきたい



村岡 末男 議員

質問 既存の作物に加え、農業所得の向上が望まれる新しい作物の導入をすべきでは。

答弁 ブロッコリーや高菜については、農業所得増に結び付く単収や品質の向上について補助事業や関係機関と連携した技術指導を通じて取り組んでいく。スナップエンドウやハウスびわ、中玉トマトなど比較的収益性の高い作物に対しては、ハウスの整備や支柱等の生産資材等の補助を、新規作物としてパプリカのハウス栽培



パプリカのハウス栽培

用し支援を行う予定である。今後も農業者や関係機関と連携しながら取り組んでいきたい。

優良繁殖雌牛の更新に対する助成を

質問 繁殖牛5千頭に向け、優良繁殖雌牛の更新に対する助成をすべきでは。

答弁 現在繁殖雌牛の更新については、県家畜導入事業農協等有導入事業維持タイプと市の特別導入事業があり、農協等有導入維持タイプでは、1頭当たりの補助が県5万円、市4万6千円、農協5万4千円の合計15万円となるため、この補助金を活用し、積極的な更新を推進していきたい。

富江地区基盤整備事業の進捗状況は

質問 富江地区基盤整備事業の進捗状況と今後の計画は。

答弁 只狩山南側の約38ヘクタールを最初の区域として選定し、基盤整備とかんがい施設の更新を計画しており、平成31年度着工に向け、富江地区土地改良区並びに担い手農家などで構成する期成会、県及び市で協議を行っている。

禾女員会 分科会 の審査

務 務 委 員 会

問 ふるさとづくり寄附金事業として、64万3千円が計上されているが、その内容は。

答 ふるさとづくり寄附金の拡大を目指し、関東圏への五島市のPR活動として、10月に横浜で開催されるふるさと納税大感謝祭への出展に係る経費として旅費、荷物運搬料、備品リース料などを計上している。出展の内容は、割り振られたブースにおいて、ふるさと納税の返礼品や市の特産物を紹介する予定である。

生 厚 教 文 委 員 会

年代以降ではないかとの評価を受けている。

問 新ごみ焼却施設の建設工事費50億3千884万8千円、施設管理運営費54億6千480万円を内訳とする限度額105億364万8千円の債務負担行為が設定されていることに関し、今定例会の一般質問において、運転方式を16時間の準連続運転から24時間の連続運転に変更するとの市長答弁であったが、この限度額の積算については、1日41トンのごみを16時間で処理する焼却施設として積算されていることから、24時間の連続運転としたことで変更が生じるのではないか。

問 久賀島の世界遺産ガイダンスセンターとして整備活用予定の古民家について、復原調査業務委託料217万8千円が計上されているが、当該古民家の建築年代は。

答 詳しい建築年代は不明だが、建築学者からは、幕末の建築物である武家屋敷通りふるさと館前の松園邸と間取りがほぼ同じであるものの、明治に入ってからのもので、明治10

答 24時間連続運転の焼却施設については16時間運転と比較した場合、施設自体は多少コンパクトになるものの、各部材において耐久性が高い高品質なものになる。また、施設管理運営費については、連続燃焼になるため燃料費などが縮減されることになるものの、

運営に係る人員については、16時間運転の3班体制から4班体制になることから人件費の増加が見込まれるなど、建設費及び施設管理運営費ともに変更の要因があるものと考えている。

また、16時間運転での計画は、本定例会の議決後に入札公告を行う予定としていたが、24時間運転としたことから、現在、24時間運転での見積もりを依頼しており、11月上旬には提出されることになっていない。見積書が債務負担行為の限度額内であれば、事業費の精査を行い、本年中に入札公告を行う考えでいる。

問 11月上旬に提出される見積書をもとに積算を行い、次の定例会において債務負担行為の設定を行うこととした場合、スケジュールはどのようになるのか。

答 次の定例会において債務負担行為の設定を行うこととした場合は、入札公告が来年の1月以降になることから、事業着手が1ヵ月程度順延する見込みとなる。

現在の奥浦地区の福江清掃センターでの稼働は、地元町内会との協定において平成31年3月までと

なっていることから、期間の延長について町内会長と協議を進めているところである。

経済土木委員会

牛の販売実績は。

答 昨年度の子牛の販売額は3千10頭の21億3千583万4千円であった。今年度はまだ3回しかセリが行われていないが、販売額は1千467頭の12億3千967万4千円となっている。



肉用牛パワーアップ事業として、低コスト牛舎等整備支援を行う(イメージ写真)

問 体験型観光受入環境整備事業費補助金333万4千円が計上されているが、その内容は。

答 農林漁業体験民宿の受入環境整備のため、26年度から今年度までの3カ年で実施している補助金であり、住宅改修事業について当初見込みを上回る申請がなされていることから、増額計上したものである。

審査結果

議案番号	件名	審査結果	議案番号	件名	審査結果
議案第75号	五島市福祉医療費の支給に関する条例の一部改正について	原案可決	議案第99号	公有水面埋立てに関する意見について	原案可決
議案第76号	五島市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部改正について	原案可決	議案第100号	あらたに生じた土地の確認及び町の区域の変更について	原案可決
議案第77号	五島市障害者福祉計画策定協議会条例の一部改正について	原案可決	議案第101号	あらたに生じた土地の確認及び町の区域の変更について	原案可決
議案第78号	五島市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報情報の提供に関する条例の一部改正について	原案可決	議案第102号	あらたに生じた土地の確認及び町の区域の変更について	原案可決
議案第79号	五島市立幼稚園条例の一部を改正する条例の一部改正について	原案可決	議案第103号	市道路線の認定について	原案可決
議案第80号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	原案可決	議案第104号	五島市公平委員会委員の選任について	同意
議案第81号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	原案可決	議案第105号	五島市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議案第82号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	原案可決	議案第106号	五島市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議案第83号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	原案可決	議案第107号	五島市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議案第84号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	原案可決	議案第108号	五島市職員懲戒審査委員会委員の任命について	同意
議案第85号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	原案可決	議案第109号	五島市職員懲戒審査委員会委員の任命について	同意
議案第86号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	原案可決	議案第110号	五島市職員懲戒審査委員会委員の任命について	同意
議案第87号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	原案可決	議案第111号	五島市職員懲戒審査委員会委員の任命について	同意
議案第88号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	原案可決	議案第112号	五島市職員懲戒審査委員会委員の任命について	同意
議案第89号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	原案可決	議案第113号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意
議案第90号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	原案可決	議案第114号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意
議案第91号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	原案可決	議案第115号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意
議案第92号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	原案可決	議案第116号	平成28年度五島市一般会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第93号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	原案可決	議案第117号	平成28年度五島市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第94号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	原案可決	議案第118号	平成28年度五島市診療所事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第95号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	原案可決	議案第133号	五島市監査委員の選任について	同意
議案第96号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	原案可決	議案第134号	五島市教育委員会委員の任命について	同意
議案第97号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	原案可決	議案第135号	五島市教育委員会委員の任命について	同意
議案第98号	公有水面埋立てに関する意見について	原案可決	請願第3号	地方財政の充実・強化を求める請願	採択
			請願第4号	新ごみ焼却施設建設計画に関する請願	不採択
			議会議案第7号	地方財政の充実・強化を求める意見書	原案可決
			決議第1号	平成29年度予算編成に関する要望決議	原案可決

賛否一覧表

○：賛成、×：反対、－：除斥

会派・議員名 議案番号	創政会					芯風会				椿会		政策研究会7		日本共産党		研政会		五島市安全なまちづくりの会	公明会	政策会
	明石博文	木口利光	神之浦伊佐男	谷川等	野茂勇司臣	清川久義	野瀬健一	林陸浩	三浦直人	草野久幸	古川雄一	網本定信	菊谷岩雄	江川美津子	橋本憲治	宗藤人	村岡末男	中村康弘	相良尚彦	片峰亨
議案第75号～第111号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第112号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第113号～第115号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第116号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	×	○	○	○	○	×
議案第117号・第118号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第134号・第135号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第4号	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	×	×	×	×	○	
議会議案第7号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
決議第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議案第133号については、無記名投票を行った結果、賛成20票で同意されました。



☆表紙の題字
「市議会だより」は、
翁頭中 二年
横山月乃
さんの作品です。



☆表紙の題字
「ごとう」は、
富江小六年
江川颯人
さんの作品です。

12月定例会は12月7日(水)開会予定です。

インターネット議会中継

本会議の生中継、平成22年6月定例会以降の本会議の映像を見ることができます。
<http://www.goto-city.stream.jfit.co.jp/>



議会広報特別委員会

委員長 菊谷 岩雄 委員 明石 博文
副委員長 村岡 末男 委員 中村 康弘
委員 野瀬 健一 委員 野茂勇司臣

(村岡 末男)

編集後記

市民の皆様におかれましては、日頃より五島市議会へ御協力、御理解たまわり、心から感謝申し上げます。

また、10月15日から五島市でも開催されました、ねりんピック大会では選手の皆様、大会関係者の皆様大変お疲れ様でした。応援してくださいました市民の皆様、心から御礼を申し上げます。さて、9月定例会が9

月20日から開会され、一般質問では13名の議員がそれぞれの考えや思いを質問し、理事者より答弁がなされました。

また、3常任委員会では条例改正及び補正予算等が慎重に審査され、10月12日の最終日には活発な討論も行われ、9月定例会を閉会いたしました。季節の変わり目で風邪を引きやすい時節です。身体に気をつけてお過ごしください。